

いがおえ工

笑う門には福来たる～

ニックネーム:

本誌へのメッセージ:



きりとり

CHECK 看護師・介護福祉士・看護補助員を募集しています!! お気軽にお問い合わせください ☎ 059-382-1401 WEBはこちら 鈴鹿厚生病院 |

ほっとニュース

第14回 院内運動会

5月9日(木)運動会を開催しました。借り物競争・綱引き・大玉転がし等の競技に加え、車椅子の患者さまもパン食い競争や玉入れなどを工夫す



ることで、大勢の方が楽しむことができました。今年の仮装行列はテーマを「クイーン」と決め各病棟・テイクアによる工夫を凝らした仮装行列で大いに盛り上がりました。「フォークダンス」も好評で恒例の種目として定着できました。また職員による模擬店もあり、観客の皆様にも好評をいただきました。参加した患者さまからは「良い運動になった」「みんなで楽しくできた」などの声が聞かれ、楽しんでいただけたと感じました。来年度は、高齢化している患者さまの体力も考慮したプログラムも考えていきたいと思ひます。



●外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	初診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
	再診	高山	中澤	林	西浦	鈴木
午後	再診	中瀬	野村	金原	中瀬	大井
		河合	西浦	宇佐見	高山	大井
			野村		山村	
			金原			

担当医は都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

理念 ささえあい、ともに生きる

基本方針

- 患者さまや地域の皆さまに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
 - 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
 - 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
- 地域におけるメンタルヘルスに積極的に取り組みます。
 - 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みまます。

編集後記

今号は「夏フェス」などをお伝えしました。さて、広報委員のスタッフは「Live with すずか」の名のとおりに、皆さんと一緒に創っていきたくて思っています。本誌へのご感想やご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401(代表) FAX・059-382-1402
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp

三重厚生連 鈴鹿厚生病院

第58号

2019.7月

発行/三重県厚生連鈴鹿厚生病院
編集/TCK 名古屋
所在地/三重県鈴鹿市岸岡町589-2
TEL/059-382-1401
ホームページ/http://www.miekosei.or.jp/skh/

ともに生きる... Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌

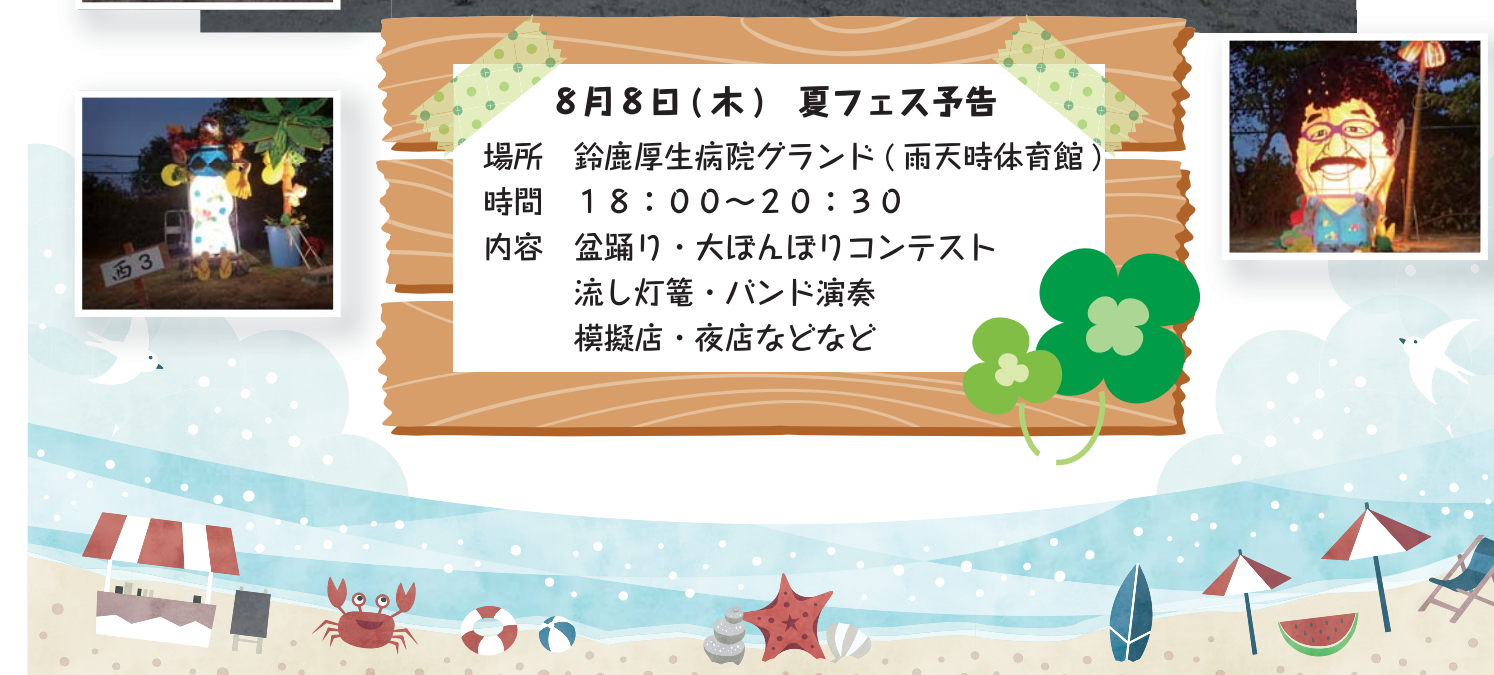


夏フェス 2019

入院患者さま、御家族さま、地域住民の方々に喜んでもらえる企画を用意し、令和最初の病院イベント夏フェスを盛り上げようと、実行委員一同準備しております。是非、みなさんの参加をお待ちしております。

8月8日(木) 夏フェス予告

場所 鈴鹿厚生病院グラウンド(雨天時体育館)
時間 18:00~20:30
内容 盆踊り・大ぼんほりコンテスト
流し灯籠・バンド演奏
模擬店・夜店などなど



心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は「こころ」に関するテーマに沿って
毎号連載していくコーナーです。今号は新しいスタッフを紹介します。

テーマ ご挨拶

この度、4月に菰野厚生病院より赴任いたしました。鈴鹿厚生病院は初めての勤務となります。これまでに何度か仕事の関係でお世話になっておりましたので、職員の方や建物については何となく親近感がありました。

仕事については精神科専門の病院ということで、初めて耳にする用語等が多くて戸惑うことも多々あり、周囲の方の力を貸していただき過ぎております。

毎日皆様の温かいお言葉、ご指導ご協力を賜り大変感謝しております。一日も早



総務課
服部 栄子



く鈴鹿厚生病院の職員の皆様に「事務所の人だね」と覚えていただけるよう日々努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

看護部長のつぶやき

先日、ある患者さまから「福田さん、看護師さんの中で一番偉いさんになったん？大変やなあ、頑張ってるな。」と声をかけていただきました。患者さまからの温かい言葉に感謝し、少しずつでも成長できるように努力したいと思います。



スマイリー バトンリレー

栄養科

栄 養科では、入院患者さまの楽しみとしていただけるような食事を提供できるように毎日取り組んでいます。患者さまの健康状態を維持し病気の治療がスムーズにすすむよう当院管理栄養士他スタッフが一体となって患者さまをサポートしています。

また、管理栄養士は外来患者さまの栄養相談もおこなっておりますので、栄養相談希望の方は、主治医へご相談ください。

ピーマンの塩昆布炒め

ピーマンは、ビタミン豊富な野菜で、ビタミンCはメラニン色素を分解する働きがあります。加熱に弱いビタミンCですがピーマンに含まれるビタミンCは、熱に強く、同時に含まれるビタミンAも油で調理する事で吸収率がアップするので、ピーマンは、炒め物に良い野菜です。

ピーマンは独特の香りと苦みがありますが、その成分は細胞に含まれており、横に切る（輪切りにする）と繊維が壊れて、香りや苦みも強くなります。ピーマンの香りや苦みが苦手な方は、繊維に沿って縦方向切ると苦みが和らぎます。逆に、ピーマンの香りや苦みを楽しみたいという方は、輪切りの方向に横に切るのも良いと思います。また、縦に切るとシャキシャキとした歯ごたえを楽しむことができ、輪切りにすると軟らかく仕上がるといった違いもあります。



材料 (4人分)

ピーマン	4個
パプリカ	1/2個
油	小さじ1/2杯
塩昆布	5g
ごま油	少量

DATA (1人前)

■エネルギー	/60kcal
■塩分	/0.6g

ピーマンを切る方向は、縦切りでも横切りでもお好みで！

作り方

- 1 ピーマンとパプリカを洗い、へたと種を取り、細切りにする。
- 2 フライパンにサラダ油小さじ1/2を中火で熱し、①を炒める。
- 3 ②に塩昆布を入れて水を50ml程加え、塩昆布の味を馴染ませるように炒める。
- 3 水分がなくなるまで炒めたら、ごま油を加え、サッと炒め完成。

院内散策 憩いのPOINT

4月16日に近くの保育園児を招き、春の花フェスタを開催しました。開催内容は花壇へ花（ペチュニア）の苗植えを中心に植え替えを行いました。花言葉は「あなたと一緒に心が和らぐ」「心のやすらぎ」です。園芸を行うことで、体を動かす機会となり、屋外に出て風・太陽の光を感じながら体を動かす時間が持てたと思います。患者さまも多く参加していただき、楽しい時間を過ごせました。



協力施設のご紹介

就労継続支援B型事業所

すずわ

平成2年にすずわ（家族会）が設立した小規模作業所「すずわの家」からスタートしました。平成21年4月より自立支援法の施設として、社会福祉法人ジェイエイみえ会が就労継続支援B型事業所「すずわ」を新たに開設しました。就労継続支援B型事業所とは、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である方に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う事業のことです。

平成30年3月より建て替えのため鈴鹿市秋永町へ移転し、平成31年1月新築工事終了、1月17日開所式を行いました。平成31年2月～3月から鼓ヶ浦と秋永町の2カ所にて活動を開始しました。

主な作業内容

- 自動車部品の組み立て+軽作業
- 自主製品の創作活動
- 除草、清掃作業
- リサイクル作業（缶仕分け、金属回収等）
- 農福連携

「誰もが生き生きと自分らしく暮らせるこころ豊かな社会を創造する」を活動理念としています。

information

社会福祉法人ジェイエイみえ会 就労継続支援B型事業所すずわ

〒510-0254
鈴鹿市寺家3丁目11-16
TEL 059-386-0279
FAX 059-367-7151



作業療法 作品紹介

作品：紙玉絵（仮称）東2病棟共同作品

作者のコメント

世間には存在しない新しいアイデアで物を作るのは難しい。お花紙を8等分して、水を含ませて丸め、5mm大の紙玉を手作業で作成し、乾かしてイノシシになるようにポンドで貼り付けて作成した。この作成にあたっては、男女の別なく年齢を越えて協力した。何とも面白く、愉快で、楽しい物が出来あがったのである。

